

⑩ もりのわ

庭師の前田美徳さん、農家の丸瀬和憲さん、大工の田貝健一さんの3人で2019年に結成。造園技師、矢野智徳さんの「大地の再生講座」に参加し、地面に溝を掘って水脈を造ることで地上や地下の空気と水の

里山の環境再生を目指した水脈の施工作业や竹炭作り、大山での自然観察会など環境保全に関わるさまざまなイベントを開催。自然に寄り添うことで得られる喜びや癒やしに気付くきっかけづくりに取り組んでいる。



水脈造り 自然環境を再生



竹林整備で伐採した竹を使った竹炭作りワークショップ

流れを生み出し、自然環境を再生させるという考えに共鳴した。

鳥取県のミラクルとつとり運動推進補助金を活用し、毎月第1土曜に「もりのわじかん」と題して、メンバーが所有する南部町内の里山や米子市内の農地で大地の再生を実践している。

水脈の施工作业は基本的

用するのが特徴だ。穴溝を掘ることで地面に水が浸透するようになり、土中環境の改善や土砂崩れの抑制につながるという。

竹林整備で伐採した竹は竹炭にして再利用。水はけの悪い土壌に交ぜることで通気性や透水性の向上を促すほか、竹炭を使ったたき火会は参加者の交流の場にもなっている。不要なものを活用することで無駄なごみを減らしつつ、自然に手入れすることで豊かな環境を子どもたちの世代まで残していくことを目指す。

前田さんは「ものを無駄なく使うことで自然本来の力を取り戻す好循環が生まれていく。活動をきっかけに、周囲の自然環境にも目を向けてもらいたい」と話した。